

甲田ゆり子活動報告

(2015年6月～8月)

6月

- 日韓友好促進定期総会・懇親会
- 1 五中運動会
- NPO法人ブックスタート視察
- 白鷺せせらぎ公園開園式(建設委員会として)
- 2 視察(新宿区戸山ハイツ「暮らしの保健室」)
- シルバー人材センター定期総会(建設委員会として)
- 中野五丁目障害者多機能型通所施設整備説明会
- 6/22～ 第2回定例会～7/7まで定例会



7月

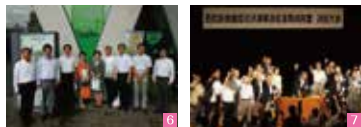
- 避難所運営会議(大妻中野)
- 中野中学・公開授業(「平和の語り部」体験講話)
- 区政報告会
- 社会を明るくする運動(上高田地区)ひまわりコンサート
- 社会を明るくする運動(新井沼袋地区)講演会



8月

- プレミアム緑日開会式にて挨拶
- ライフサポートビジネス創造塾(産業振興センター)

- 区政報告会
- 平和のつどい(野方WIZ)
- 5 文京区障害福祉総合センター視察
- 社協・あんしんサポート等事業調査
- 建設委員会付託陳情者と会談
- 東京都河川改修促進大会
- 東都区民活動センター・びよびよ広場視察
- 松が丘片山町会盆踊り大会
- 社協・学習支援事業等調査
- 終戦記念日街頭演説会
- 6 大田区蒲田駅周辺まちづくり・総合体育館視察



- あいロードまつり
- 7 西武新宿線野方以西渋滞解消既成同盟決起大会(野方WIZ)
- 駅周辺まちづくり特別委員会
- 8 足立区孤立ゼロプロジェクト視察
- 墨田区錦糸公園内のすみだ総合体育館見学
- 建設委員会
- 9 中野区・田村市スポーツ交流事業式典・田村市民歓迎会



区民相談2015年5月～9月…152件
累計1,019件(2011年5月初当選時より累計)

MINI NEWS 9/24より、区役所・高齢者総合窓口が新しくなりました。

高齢者の介護保険・後期高齢者医療保険などワンストップで受けてくれます。2階エレベーター降りて右へ。

窓口のカウンターは、車いすの方でも使いやすいサイズ。タッチパネル式の発券機の近くには窓口の案内をするフロアマネージャーがいます。お越しの際は初めにこの用件をお伝えください。マネージャーが番号札を発券します。



甲田ゆり子連絡先

- 公明党控室 03-3228-8875 FAX 03-3389-8680
- ホームページ <http://kodayuriko.com/>
- ブログ <http://kodayuriko.com/blog/>
- Eメール kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp
- Twitter @KoudaYuriko
- Facebook 甲田ゆり子 または Yuriko Kouda で検索



甲田ゆり子ホームページ



こう だ 甲田ゆり子NEWS

生まれ育った中野を笑顔輝くまちに

公明党 VOL.018

発行元: 中野区公明党議員団
2015年 秋号

中野区議会第3回定例会・決算議会が終了



第3回定例会において(9月10日より10月16日まで)甲田ゆり子は一般質問に立ちました。

(質疑の主な内容は中面へ)

今定例会では平成26年度の決算について審査。我が会派として今後も長期的な視点で区民の生活を守る慎重な財政運営を要望しつつ、認定すべきものとし、賛成・可決させました。

定例会でのTOPICSは、「中野区の基本構想」検討素案、「新しい中野をつくる10か年計画」(第3次)(素案)が報告されたことです。案の作成に向け質疑が行なわれ、今後、来年1月にパブリックコメントにて区民の意見を踏まえ、2月には「案」が作成されます。また、マイナンバー制度の開始、中野駅周辺のまちづくり、西武新宿線沿線まちづくりなどの議論が行われ、前進しています。

中野区の子育て支援が充実

10月から“子育てトータルケア事業”が始まりました!

現代の子育てでは、晩婚・晩産などにより、産後の母親を支える手がなく、孤独な育児で“産後うつ”になってしまう人も増えています。

そんなお母さんを笑顔にしたい、健全な子育てをスタートしてほしいとの思いから、甲田ゆり子は、「産前産後ケア」の充実に取り組んできました。



中野区では、いよいよこの10月より「子育てトータルケア事業」(妊娠・出産期からの切れ目ない子育て支援)として、産前産後支援の新規・拡充事業が始まりました。(事業の主な内容は中面へ)



子育てトータルケア事業とは・・・

特に先駆的な事業は、産後ケア事業・3本の柱です!!

- 1.ショートステイ** 産後4ヶ月までの方が母子で宿泊してケアを受けることができるもの(述べ5日以内。利用料1日3,000円)
 - 2.デイケア** 日帰りで助産師さんと過ごしながら母乳や育児の相談が受けられるもの(述べ5日以内。利用料1日1,000円)
 - 3.ケア専門家派遣** 生後6ヶ月以下を対象として、産後ドゥーラ(お母さんに寄り添って支援をする専門家)による家庭(利用者自宅)での援助が受けられるもの(述べ15時間以内。利用料1時間1,000円)
- ※いずれも、住民税非課税世帯等へのさらなる助成あり。

short stay

ショートステイが受けられる場所は、松が丘互助産院(松が丘1-10-13)です。

Day care

デイケアが受けられる場所は、松が丘互助産院、堤式助産母乳育児相談処、中部・南部すこやか福祉センターです。

妊婦の方や子育て中の方が、安心して出産や子育てができるように!

妊娠期

出産

産後

妊娠! 妊婦届提出

母子健康手帳受取

電話相談 プレママコール

妊娠期相談支援

- 全ての妊婦さんに専門相談員が面談、個別支援プラン(カンガループラン)を作成。
- 面談をした人には、妊婦・子育て応援ギフト券(1万円分)が区から贈呈されます。

産前サポート事業も 拡充されました!

「こんにちは赤ちゃん学級」マタニティケアクラス「妊婦ヨガ&ストレッチ」「プレパパママ講座」なども新規・拡充。利用しやすくなりました。

産後サポート事業・ 情報交換の場も新たに

- 「赤ちゃんがきた!」はじめての育児の方対象
- 「ほっこり育児」生後4ヶ月以下の赤ちゃんとママが対象

なかの子育て 応援メール (リニューアル)!!

出産予定日やお子さんの誕生日を登録すると、利用者に合った情報がタイムリーに配信されます。ママだけでなくパパやご家族の登録も可。

出産・子育てには周りの方の支えが必要です。家族みんなで登録しよう!



妊娠期登録メールアドレス



子育て期登録メールアドレス

- ◆産後直後の1か月間ないし3か月間が母子の愛着形成ができる最も大事な時期です。
- ◆産後のお母さんの体は想像以上のダメージを受けていて、一番不安定な時期でもあります。
- ◆つらい思いを受けとめ、たまにはゆっくり眠らせてあげるなど、助産師をはじめとする専門家による手助けがあれば、母親は自分の体と心を早く回復させ、育児に専念ができます。それが「産後ケア」です。(H27.2.27予算特別委員会より)



甲田ゆり子は、「産後ケア」について、7回にわたり議会質問してきました。また、公明党の提案により、平成26年10月に「産後ケア体制の拡充を求める意見書」を中野区議会から国へ提出しました。



ご相談・お問合せは、 すこやか福祉センターへ

南部(弥生町2-41-2 電話 3380-5551)
中部(中央3-19-1 電話 3367-7788)
北部(江古田4-31-10 電話 3388-0240)
鷺宮(若宮3-58-10 電話 3336-7111)

平成27年 第3回定例会 甲田ゆり子一般質問より(抜粋・要旨)

健康寿命を伸ばすためのインセンティブの 取り組みを

質問 魅力的かつ効果的なインセンティブの在り方を検討し、健康への「無関心層」が関心を持つことのできる持続可能で分かり易いポイント制度の導入を構築すべきと考えるがどうか。

答弁 健康づくり無関心層への働きかけも考慮し、今後、スマートウェルネスコミュニティ協議会の検討を踏まえ、ポイント制度やICTなども活用し、健康寿命を延伸するためのインセンティブについて研究していく。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続ける ための住み替え支援について

質問 孤立死の問題が深刻であり、見守りを備えた高齢者の住まい、住み替え支援についてさらなる支援が必要である。

孤立死防止のために、一例であるが、社協の「あんしんサポート事業」※1や民間の安否確認システム(トイレのあけしめチェッカー※2)などをパッケージとして、家賃や保証料に組み込み貸主が安心して高齢者に住宅を貸しやすくなる制度を不動産関係団体に働きかけ、区が後押ししてはどうか。

答弁 高齢者が住み慣れた地域で住み替えるには、地域の不動産店や賃貸住宅の貸主の理解が不可欠であり、民間で行なっている様々な安否確認や見守りサービスは有益であると考えられる。今後、「住み替え支援事業」で協定を結んでいる不動産関係団体に対して、活用を要望していきたい。



※1 あんしんサポート事業

▶6月より社会福祉協議会が始めた有料サービス(年間15,000円)。65歳以上の単身世帯で身寄りのない方に対するもので、3ヶ月に一回の定期訪問、月2回のあんしん電話、入院時のバッグお届けサービス、ほほえみサービスの利用会員登録を基本とする。



※2 トイレのあけしめ チェッカー

▶携帯電話のモバイル機器をトイレのドアに取付け、ドアを開け閉めた時間を記録し、その記録時間をあらかじめ決めた人あてにメールで送信して安否確認をするというもの。



ギフト券を用いた産前産後の支援について

質問 10月から始まる、産後ケアの利用にあたり、全妊婦面談時に東京都の補助金を使い1万円分のギフト券を配布するが、より効果的な支援として、これを産後ケア事業の自己負担分や区内の子育て支援サービスに使えるよう、随時改善すべき。

答弁 ギフト券を導入する場合は、子育て支援という事業趣旨を踏まえ、産後ケア事業や各種子育てサービス利用時にも使うことができるようにする。

子ども総合相談窓口の充実を

質問 現在の子ども総合相談窓口をフットストップで行なっていることは一定評価しているが、相談者の本当のニーズを聞き取り、生活形態や環境にあったサービスの紹介や案内には、もう一步体努力が必要。

窓口対応を専門に行うスタッフの配置を委託等の方法を含め検討してはどうか。

答弁 一人ひとりのニーズを丁寧に聞き取り、よりきめ細かく、わかりやすく案内することが大事であると考える。今後とも、窓口に来られたお客様に満足して頂けるよう、改善や充実が必要であると考えており、検討を進めていきたい。

発達障害の専門相談について

質問 発達障害の相談は、専門的な高い知識や経験が必要である。すこやか福祉センターは一時的に受け止め、地域とのつながりを作っていくためには重要だが、障害があるかないか不明な時期を含め専門的な相談が受けられる機関を確立すべきである。南部に開設予定の障害児通所支援施設に発達障害の専門的な相談機能をもつものにと要望してきたが、検討状況はどうか。

答弁 (仮称)南部障害児支援施設においては、発達の問題や療育等に関する一般的な相談を行うほか、発達障害などの専門相談についても検討しているところである。
*その他の質問は次号で掲載いたします。